

9th Reduced Port Surgery Forum

演題動画作成マニュアル

1. 録音を始める前に

✓		備考
	発表スライドは「4:3」もしくは16:9の画面サイズで作成ください。	
	作成された音声入りスライドデータをmp4の動画データに変換いただきます。 変換前に、必ずデータのコピーをご用意ください。	動画への変換方法は後述しております。
	発表スライドは以下の構成で作成をお願いします。 1 枚目 演題名 2 枚目以降 講演内容	p2参照 P3参照
	録音の前にPowerPointを【スライド一覧】で表示し、スライドの下に秒数が入っていないか確認してください。	秒数が入っている場合 p4参照の上、画面の自動切換えを解除
	ナレーション録音するにあたって、あらかじめパソコンとマイクかヘッドセットを接続した状態にしてください。 マイク装備のついているノートパソコンの場合は、内蔵のマイクでもかまいません。	
	マイクが装備されていないノートパソコンやデスクトップパソコンを使用する場合は、外付けのマイクをつなぎ、音声の録音をお願いします。	
	録音の際は極力、静かな場所で雑音が入らないようお願いします。	
	ページの切り替わり時、ナレーションの録音はされません。ページの切り替わりを確認し音声を録音してください。	
	非表示設定をしない限り、全てのスライドが動画に組み込まれます。 ご発表に使用されなかったスライドや動画に入れたくないスライドは、削除または非表示スライドに設定してください。	
	動画のハイパーリンクは使用できません。動画を使用の場合は、スライドに【挿入】してください。	
	録音が終了した後に、必ずPowerPoint又は、Keynoteデータ（音声付きスライド）の保存も行ってください。	Win版PPT2010のみ WMVファイル
	ファイル名は、【セッション名_氏名_ご提出日】としてください。 例：「シンポジウム1_山田太郎_0428」	

1. 録音を始める前に

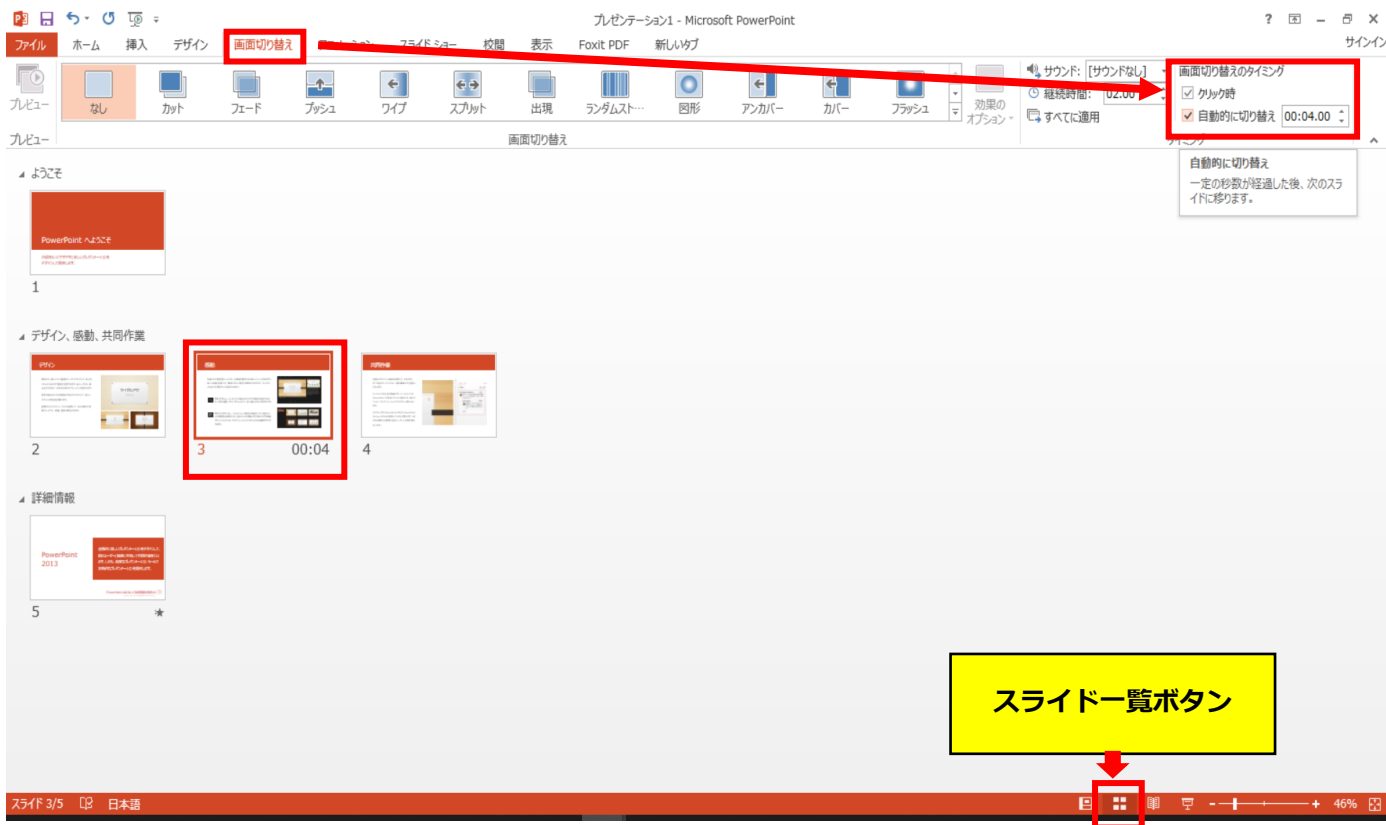
画面の自動切り替えの解除（PowerPointの場合）

- ・録音の前にPowerPointを【スライド一覧】で表示し、スライドの下に秒数が入っていないか確認してください。

秒数が入っている場合、

上部タブ【画面の切り替え】→【画面の切り替えのタイミング】→【自動的に切り替え】の☑を外してください。

※OS、バージョンによって異なりますので、ご注意ください。

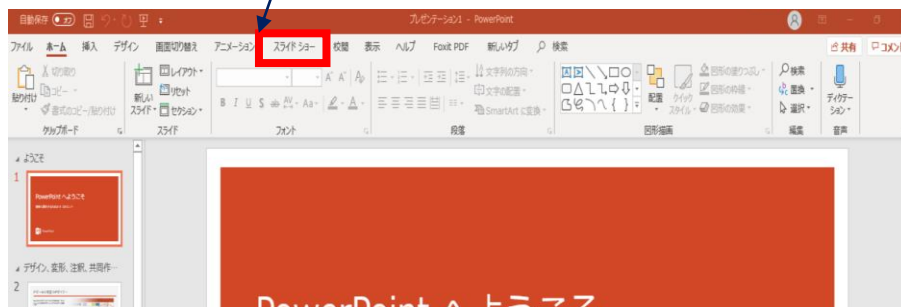


PowerPoint 2019 Microsoft 365 (Office365) の場合

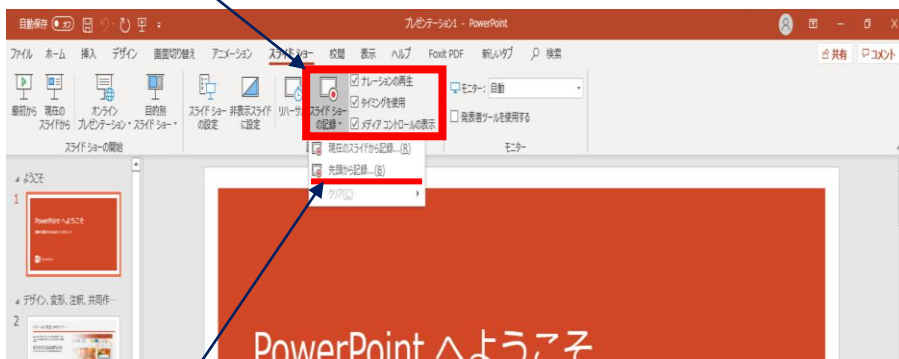
2. 動画作成手順

◆ PowerPoint 2019、Microsoft 365 (Office365) の場合

1. 画面上部の、【スライドショー】をクリックしてください。



2. 【スライドショーの記録】をクリックしてください。



3. 【先頭から記録】をクリックし記録画面に進んでください。

2. 動画作成手順

◆ PowerPoint 2019、Microsoft 365 (Office365)の場合

【先頭から録画】をクリックすると、録画スタンバイになります。準備が整いましたら、

4. 記録ボタン (①) を押し、録音を開始してください。スライドも任意のタイミングで進めてください (⑥)。



☆画面の説明

- | | |
|------------------|--|
| ① 記録ボタン | 録画を開始、一時停止 |
| ② 記録停止ボタン | 収録を停止します |
| ③ 再生ボタン | 録画した映像音声を確認できます |
| ④ 設定 | 接続したマイクが表示されます。
ヘッドセットを使用の場合、
ヘッドセットの機種名を選択してください。 |
| ⑤ PPT画面 | 表示されてる画面が録画されます |
| ⑥ 進む | 次のスライドに進みます。 |
| ⑦ 戻る | 録画を停止し、1枚目の戻りプレビューができます。
※録画時は、戻ることはできません |
| ⑧ カメラ、マイクのON.OFF | |

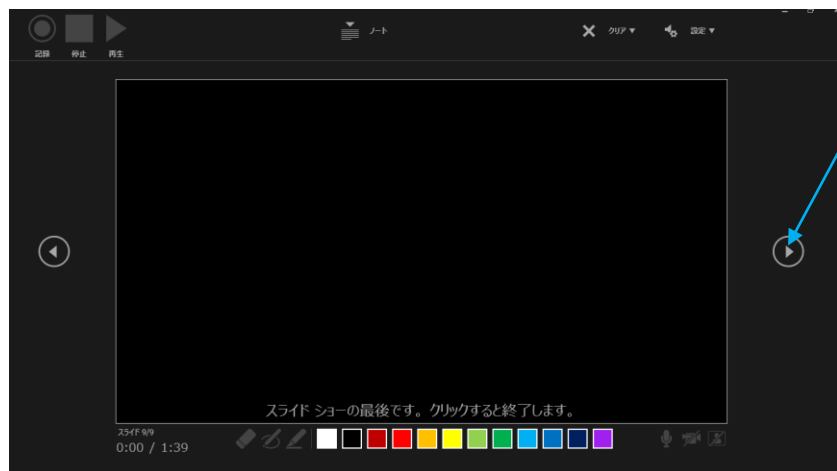
※マウスカーソルは、記録されません。【Ctrl+L】を押して【レーザーポインターモード】をご使用ください。

注) スライドの送り、動画のクリックが出来ません、ご注意ください。

2. 動画作成手順

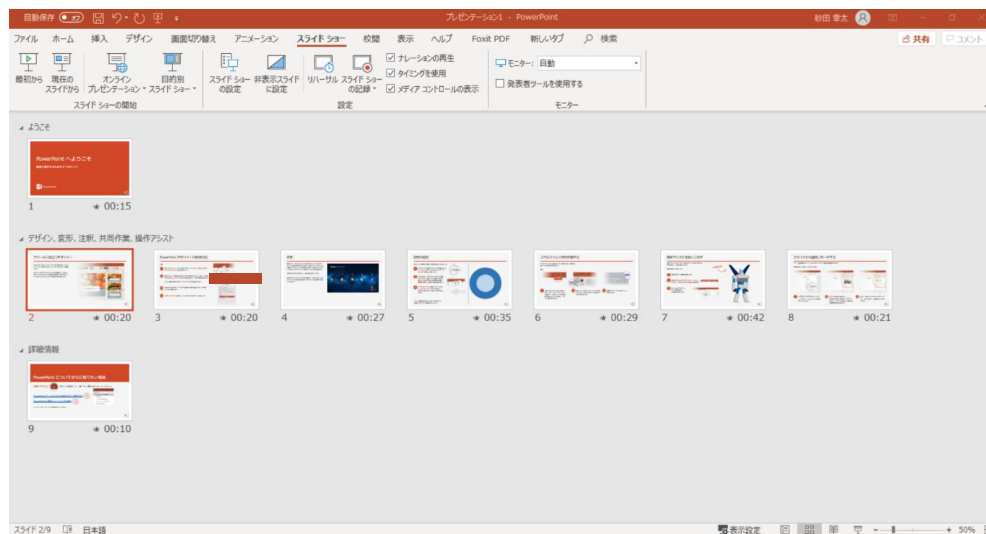
◆ PowerPoint 2019、Microsoft 365 (Office365)の場合

5. 最後まで進めると自動的に録画が停止になります。



6. もう1枚進める

7. スライダー一覧画面（右側）に戻ります



8. PowerPointを保存してください。

ファイル名は「セッション名 (例: シンポジウム1) _演者名_提出日」としてください。

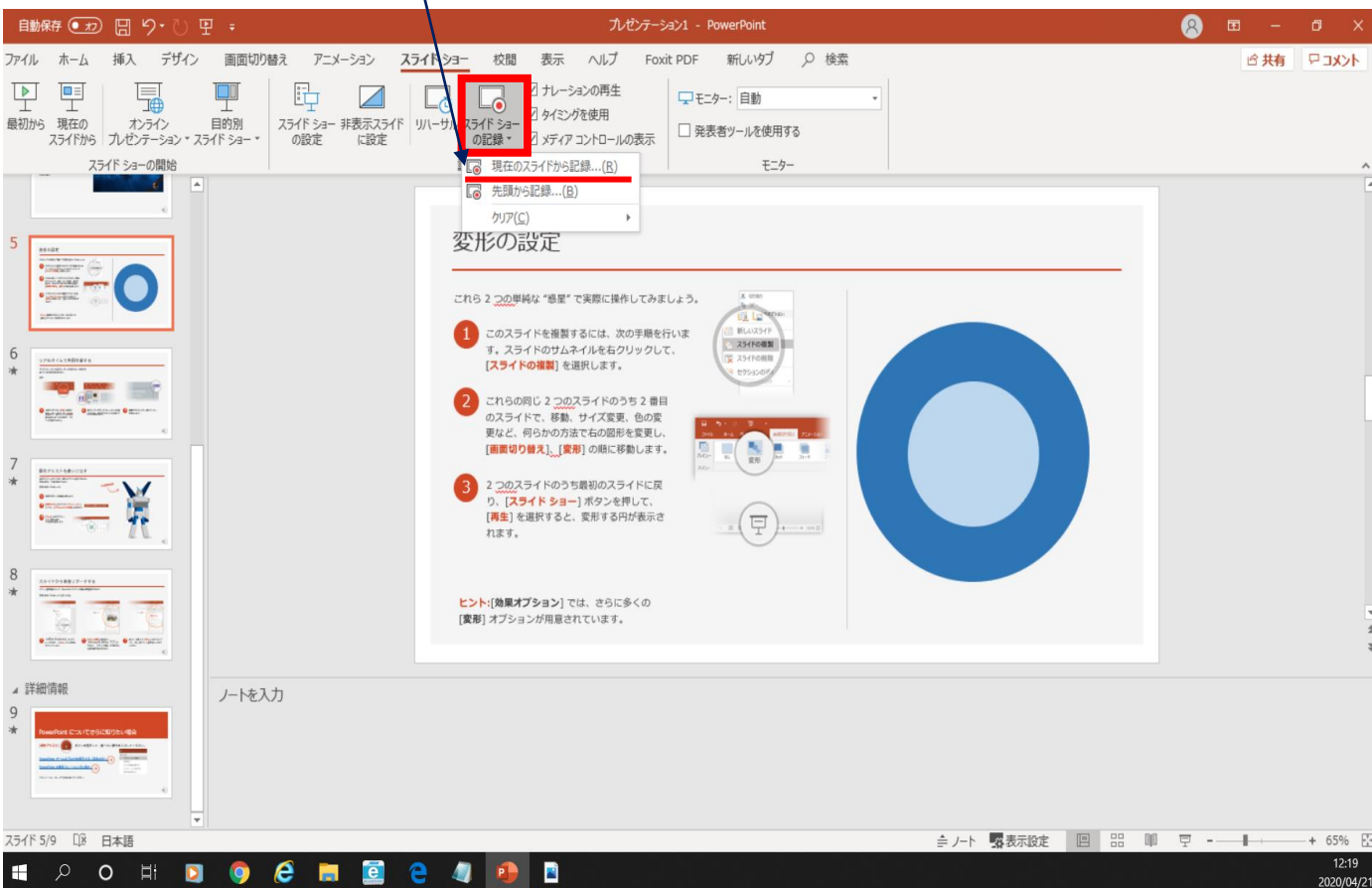
再度保存したファイル（音声付きスライド）を開き、スライドショーにて、音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。

2. 動画作成手順

◆ PowerPoint 2019、Microsoft 365 (Office365)の場合

9. 修正を行いたい場合、該当のスライドを選択し、記録を行ってください。
その場合、【現在のスライドから記録】を選んでください。

※記録が終了したら、停止ボタンを押してください。

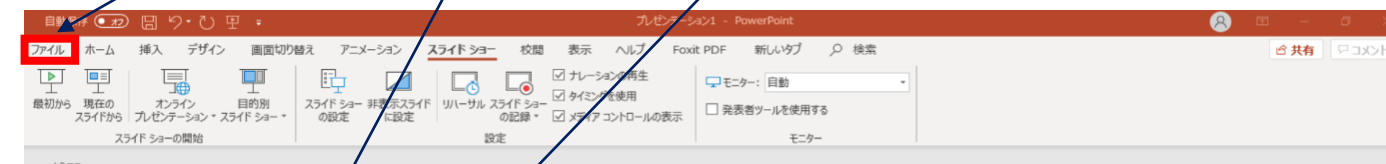


2. 動画作成手順

◆ PowerPoint 2019、Microsoft 365 (Office365)の場合

10. 動画への変換作業

①上部タブの【ファイル】→【エクスポート】→【ビデオを作成】の順に進んでください。

A screenshot of the 'Export' task pane in PowerPoint. The 'Video' section is selected and highlighted with a red box. Below it, the 'Video Creation' options are shown, with a red box around the 'HD (720 p)' option and another red box around the 'Record timing and narration' option. A red box also highlights the 'Video Creation' button at the bottom of the pane. Annotations with arrows point to these elements.

エクスポート

- PDF/XPS ドキュメントの作成
- ビデオの作成**
- プレゼンテーション バック
- 配布資料の作成
- ファイルの種類の変更

ビデオの作成

プレゼンテーションを、ディスクへの書き込みや Web へのアップロード、電子メールでの送信ができるビデオとして保存します。

- 記録されたすべてのタイミング、ナレーション、インク ストローク、レーザー ポインターの動きが組み込まれます
- アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

[スライドショービデオの DVD への書き込みや Web へのアップロードのヘルプ](#)

HD (720 p)
中ファイル サイズおよび中程度の品質 (1280 x 720)

記録されたタイミングとナレーションを使用する
タイミングが設定されていないスライドでは既定の長さが使われます (以下をご覧ください)。このオプションは、インクとレーザー ポインター...

各スライドの所要時間 (秒): 05.00

ビデオの作成

②赤枠部分が、
【HD (720P)】
【記録されたタイミングとナレーションを使用する】
になっている事を確認してください。
表記が違う場合は、項目横の▼で該当項目を選んでください。

③確認後、【ビデオの作成】を
押してください。

2. 動画作成手順

◆ PowerPoint 2019、Microsoft 365 (Office365)の場合

10. 動画への変換作業 (続き)

④ファイルを任意の場所に保存してください。

✓ ファイル名は「セッション名 (例: シンポジウム1) _演者名_提出日」としては1GB以下としてください。

✓ 拡張子が.mp4 になっていることをご確認ください。 (動画登録アップロード時の上限サイズは1GBです)



【保存】ボタンを押すと下部にバーが表示されます。
終了するまでお待ちください。



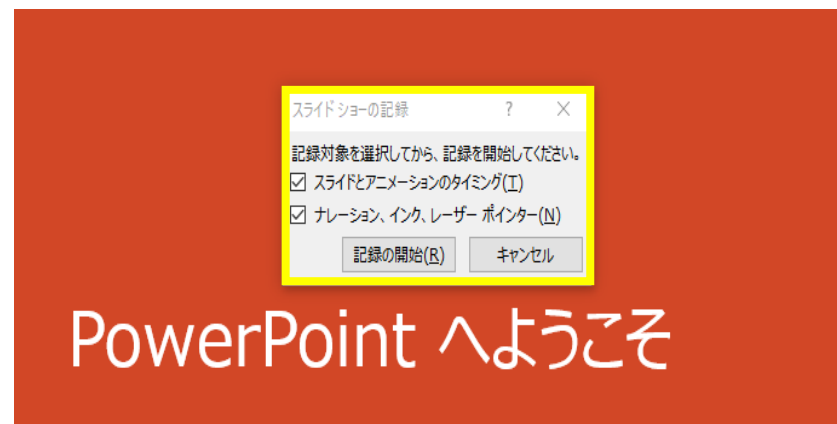
完成した動画は、音声やスライドのタイミングが問題ないか、
再生ができるか等 必ずご確認ください

PowerPoint2013 PowerPoint2010 の場合

2. 動画作成手順

◆ PowerPoint 2013・2010 の場合

4. ①【スライドショーとアニメーションのタイミング】
【ナレーションとレーザーポインター】
上記のチェックが入っていることを確認し、
【記録の開始】を押して、録音を開始してください



- ②録音中は、スライド左上に【記録中】と表記されます。
記録中となっている事を確認してください。

※マウスマウスカーソルは、記録されません。【Ctrl+L】を押して
【レーザーポインターモード】をご使用ください。

注) スライドの送り、動画のクリックが出来ません、ご注意ください。



5. 録音が終了したら、PowerPointを保存してください。
ファイル名は「セッション名(例:シンポジウム1)_演者名_提出日」としてください。

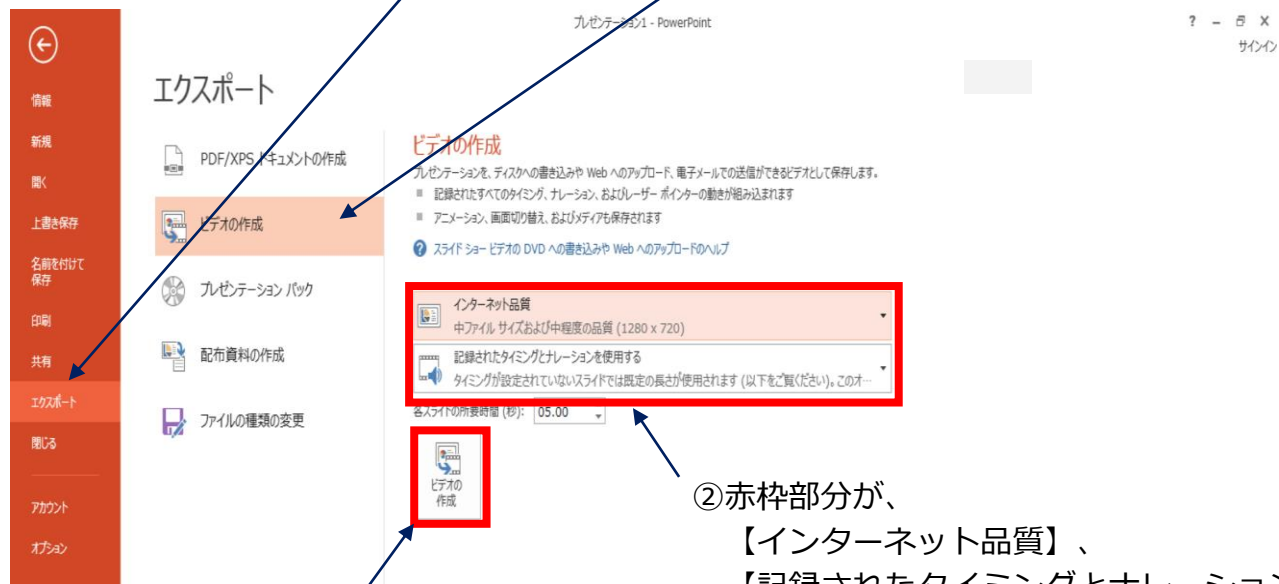
再度保存したファイル(音声付きスライド)を開き、スライドショーにて、
音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。

2. 動画作成手順

◆ PowerPoint 2013・2010 の場合

6. 動画への変換作業 ◆ PowerPoint 2013の場合 ◆

①上部タブの【ファイル】→【エクスポート】→【ビデオを作成】の順に進んでください。



②赤枠部分が、
【インターネット品質】、
【記録されたタイミングとナレーションを使用する】
になっている事を確認してください。
表記が違う場合、項目横の「▼」で該当項目を選んでください。

③確認後、【ビデオの作成】を押してください。

2. 動画作成手順

◆ PowerPoint 2013・2010 の場合

6. 動画への変換作業 ◆ PowerPoint 2010 の場合 ◆

① 上部タブの【ファイル】→【保存と送信】→【ビデオを作成】に進んでください。

② 赤枠部分が、
【コンピューターおよび HD モニター】
【記録されたタイミングとナレーションを使用する】
になっている事を確認してください。
表記が違う場合、項目横の「▼」で該当項目を選んでください。

③ 確認後、【ビデオの作成】を押してください。

2. 動画作成手順

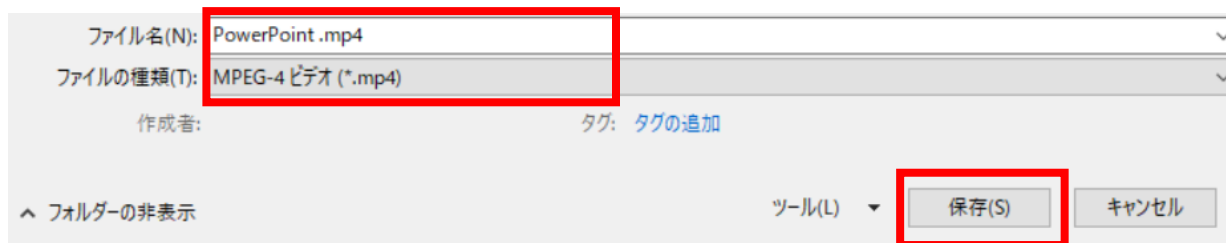
◆ PowerPoint 2013・2010 の場合

7. ファイルを任意の場所に保存してください。 **06.11更新**

✓ ファイル名は「セッション名（例：シンポジウム1）_演者名」提出冊数とは1GB以下としてください。
（動画登録アップロード時の上限サイズは1GBです）
てください。

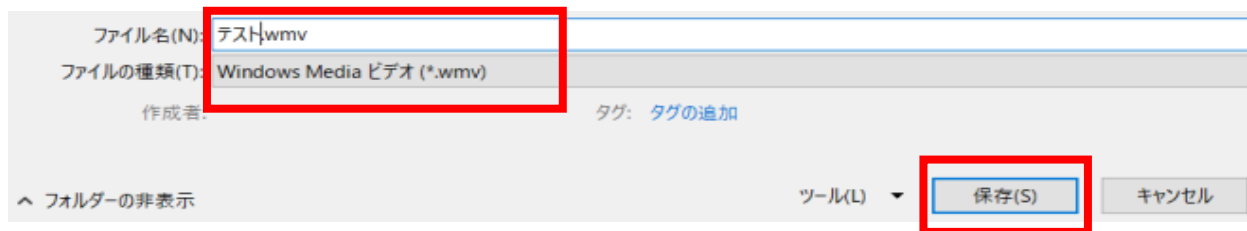
※ PowerPoint 2013の場合

✓ MPEG-4 ビデオを選択、保存し、拡張子が **.mp4** になっていることをご確認ください。



※ PowerPoint 2010の場合

✓ Windows Mediaビデオを選択、保存し、拡張子が **.wmv** になっていることをご確認ください。



【保存】ボタンを押すと下部にバーが表示されます。
終了するまでお待ちください。



完成した動画は、音声やスライドのタイミングが問題ないか、再生ができるか等 必ずご確認ください

PowerPoint Macの場合

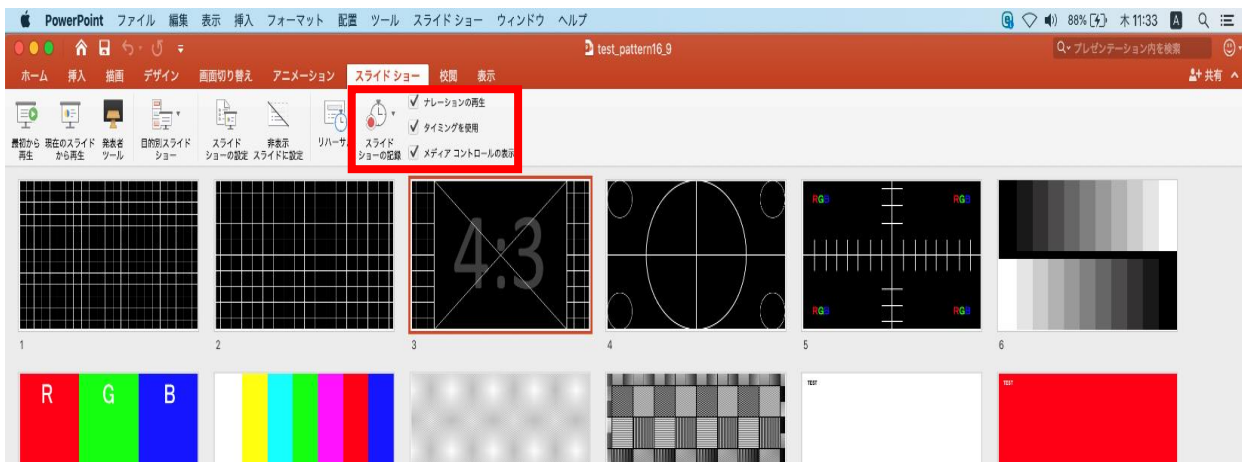
注記

- PowerPoint 2016 for Macは、動画変換・保存をサポートしていません。
2016 for Macをご利用の場合は、Keynoteで開いて動画変換いただくか、その他のバージョンのPowerPoint（2011、2019又はOffice365）で変換作業ください。
- マウスカーソル・レーザーポインターモードはご使用できません。

2. 動画作成手順

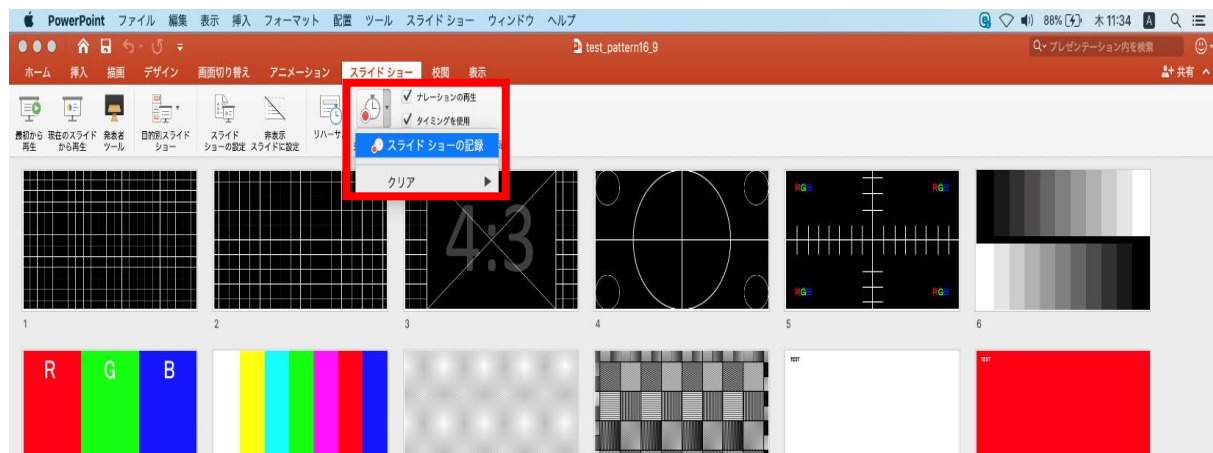
◆ PowerPoint Mac の場合

1. 画面上部の、【スライドショー】を選択し、
【ナレーションの再生】
【タイミングの使用】
のチェックが入っていることを確認ください

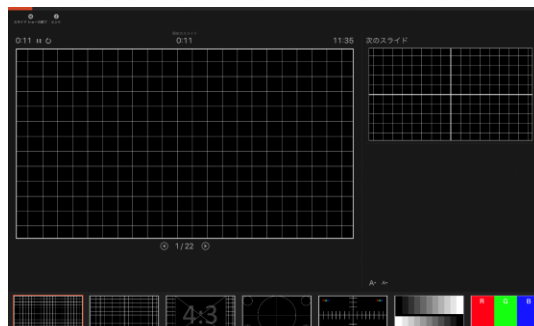


2. 【スライドショーの記録の開始】
を押し、録音を開始してください。

※選択されたスライドから記録が開始されます。
1枚目を選択した状態で記録の開始を
行ってください。



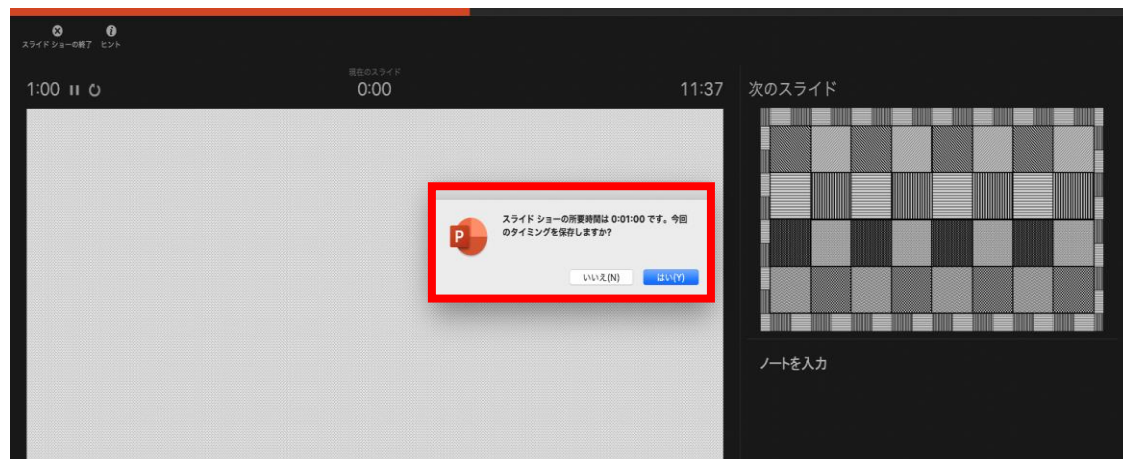
- ※【スライドショーの記録の開始】
を押すと記録が開始されます。



2. 動画作成手順

◆ PowerPoint Mac の場合

3. スライドショーを終了すると、
【タイミングの保存】のポップアップが表示されます。
【はい】 を押し保存してください。



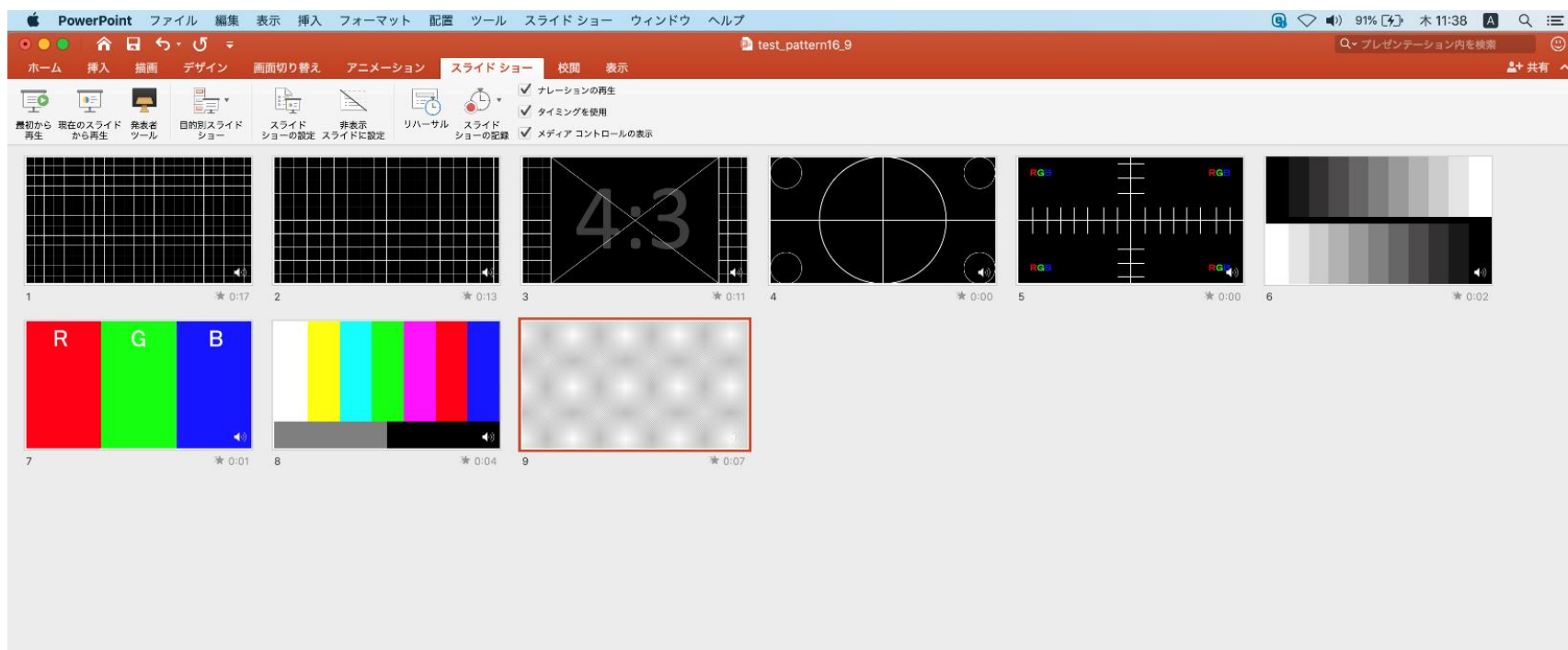
2. 動画作成手順

◆ PowerPoint Mac の場合

4. 録音が終了したら、PowerPointを保存してください。

ファイル名は「セッション名 (例：シンポジウム1) _演者名_提出日」としてください。

再度保存したファイル（音声付きスライド）を開き、スライドショーにて、音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。

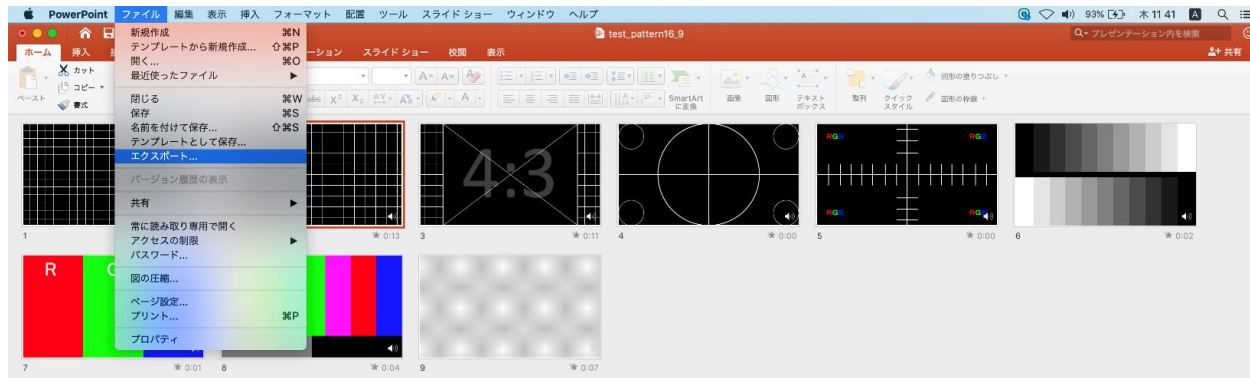


2. 動画作成手順

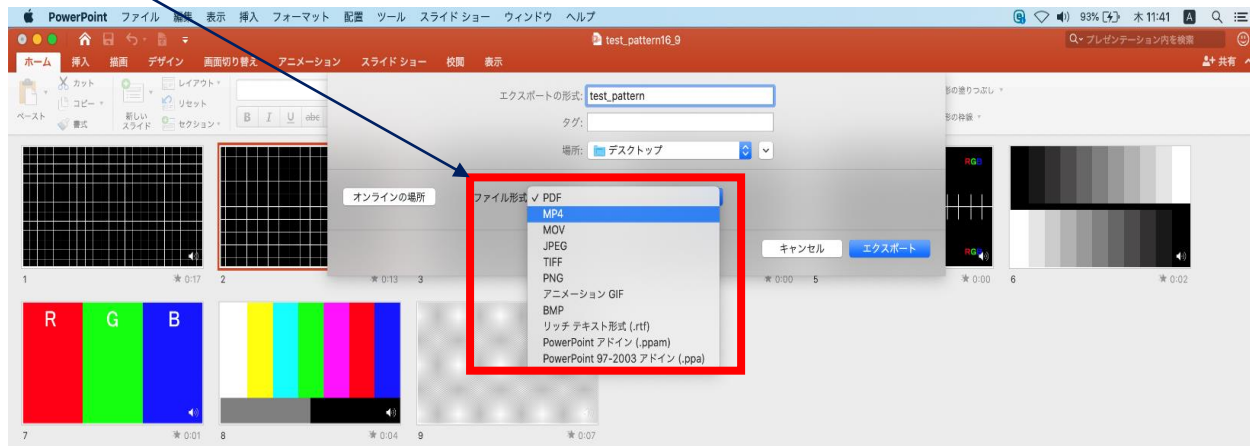
◆ PowerPoint Mac の場合

5. 動画への変換作業

①上部タブの【ファイル】→【エクスポート】を選択してください。



②【ファイル形式】を【MP4】に変更します。



2. 動画作成手順

◆ PowerPoint Mac の場合

5. 動画への変換作業（続き）

③ファイルを任意の場所に保存してください。

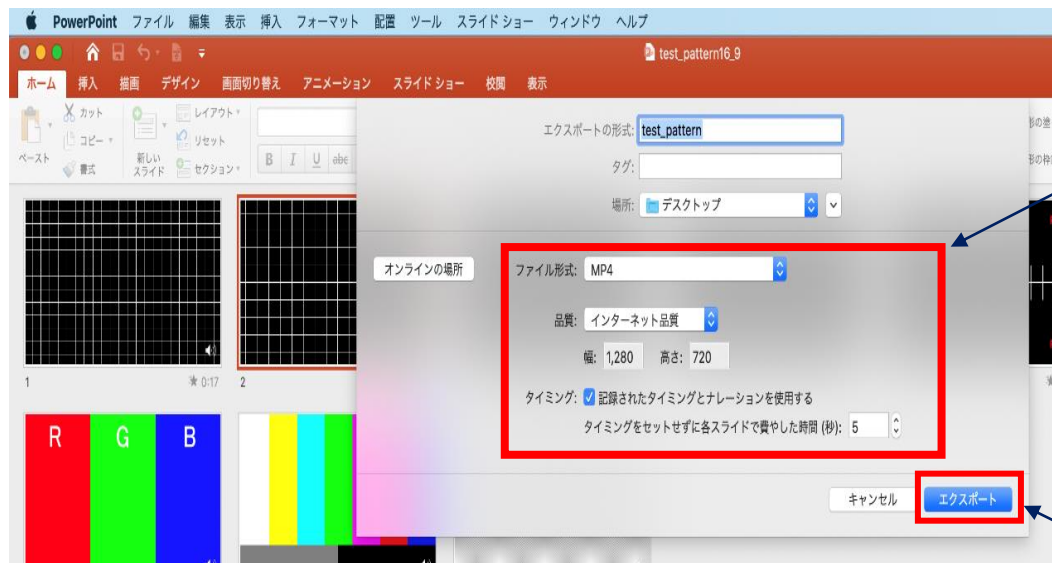
ファイル名（=【エクスポートの形式】）は「セッション名（例：シンポジウム1）_演者名_提出日」としてください。



2. 動画作成手順

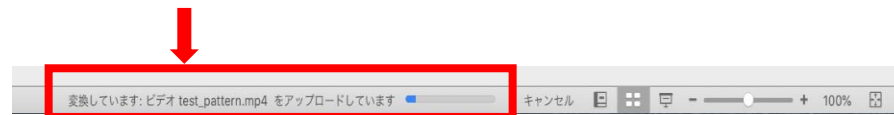
◆ PowerPoint Mac の場合

5. 動画への変換作業（続き）



④赤枠部分が、
【インターネット品質】
【記録されたタイミングとナレーションを使用する】
にチェックが入っている事を確認してください。
表記が違う場合、項目横の▼で該当項目を選んでください。

⑤確認後、【エクスポート】を押してください。
【エクスポート】ボタンを押すと下部にバーが表示されます。
終了するまでお待ちください。



✓ ファイルサイズは1GB以下としてください。
(動画登録アップロード時の上限サイズは1GBです)

**完成した動画は、音声やスライドのタイミングが問題ないか、
再生ができるか等 必ずご確認ください**

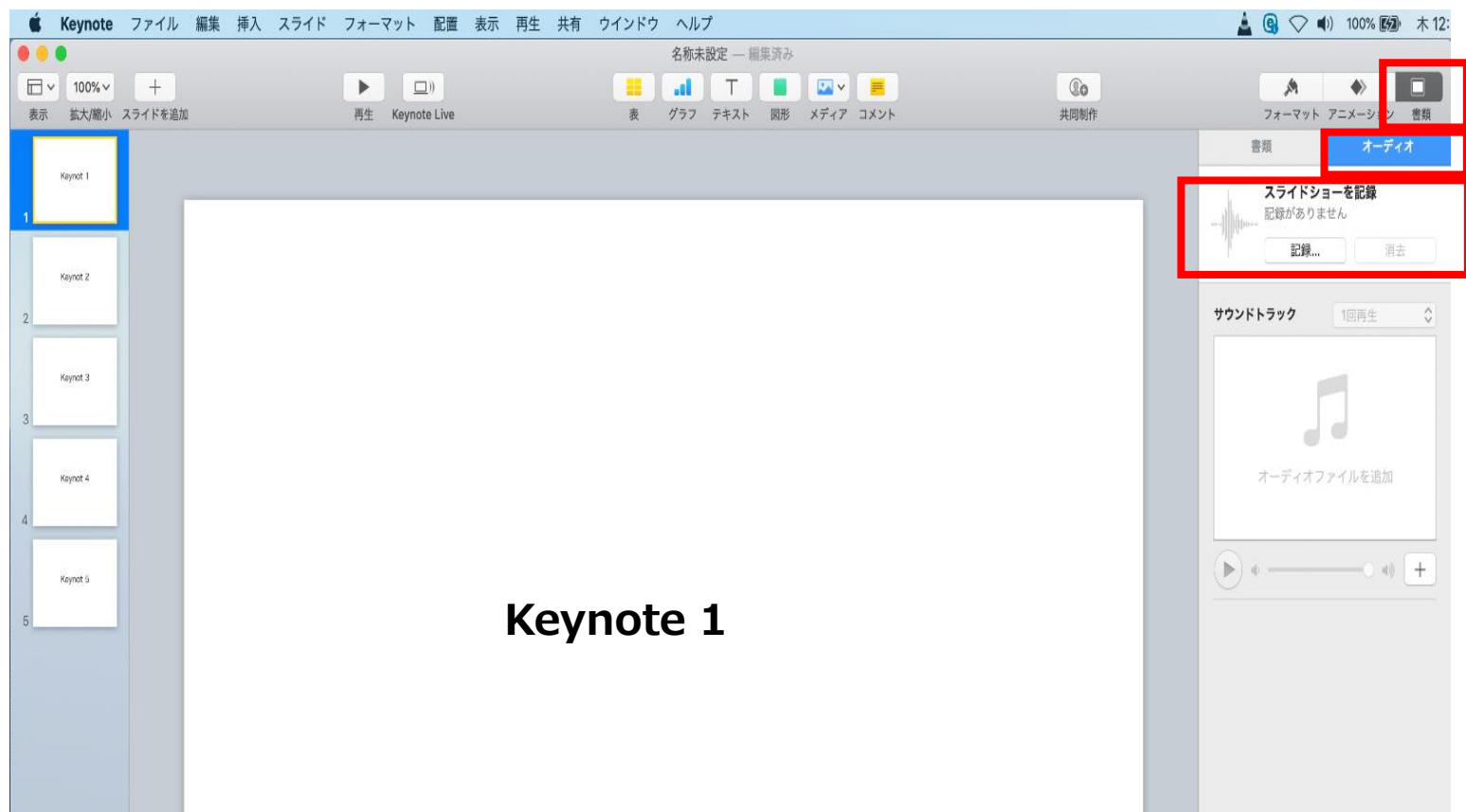
Keynoteの場合

- ・マウスカーソル・レーザーポインターモードはご使用できません。

2. 動画作成手順

◆ Keynote の場合

1. 画面右上部の、【書籍】→【オーディオ】を選択し、【スライドショーを記録】をクリックしてください。



2. 動画作成手順

◆ Keynote の場合

2. 【スライドショーを記録】をクリックすると、録音画面が表示されます。



画面下の録画ボタン●を押して、録音を開始してください。

2. 動画作成手順

◆ Keynote の場合

3. 録音が終わりましたら、画面下の録画ボタン●をもう1度押してください。録音が停止されます。



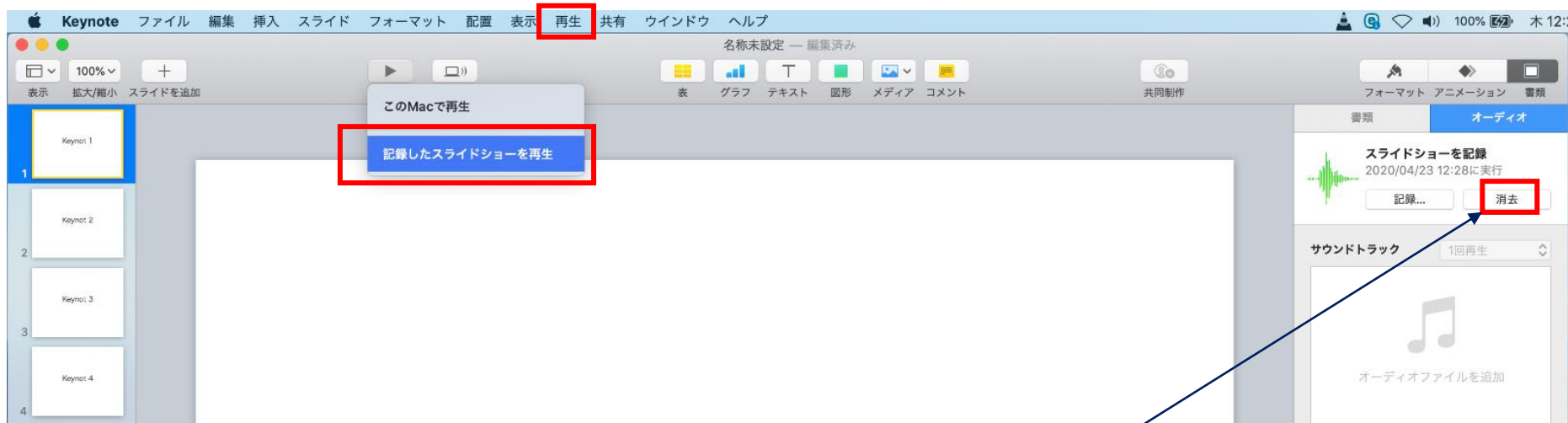
2. 動画作成手順

◆ Keynote の場合

4. 録音が終了しましたら、keynote を保存してください。

ファイル名は「セッション名 (例：シンポジウム1) _演者名_提出日」としてください。

再度保存したファイル (音声付きスライド) を開き、【再生】→【記録したスライドショーを再生】で音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。



撮り直しをしたい場合、【消去】をクリックして、再度録音してください

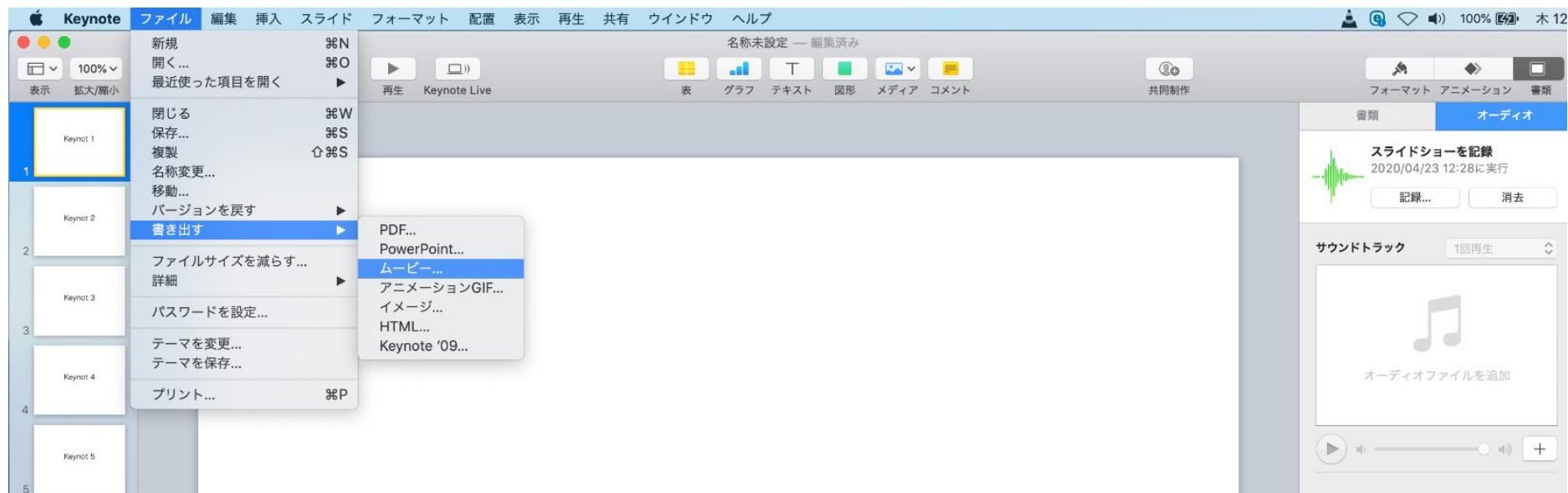
2. 動画作成手順

◆ Keynote の場合

5. 動画への変換作業

①上部タブの【ファイル】→【書き出す】→【ムービー】を選択してください。

※バージョンによって表記が違う場合があります。



2. 動画作成手順

◆ Keynote の場合

5. 動画への変換作業（続き）

②再生：【スライドショーの記録】

解像度：4:3の場合【1024×768】 16:9の場合【720P】

を選択し、【次へ】進んでください。



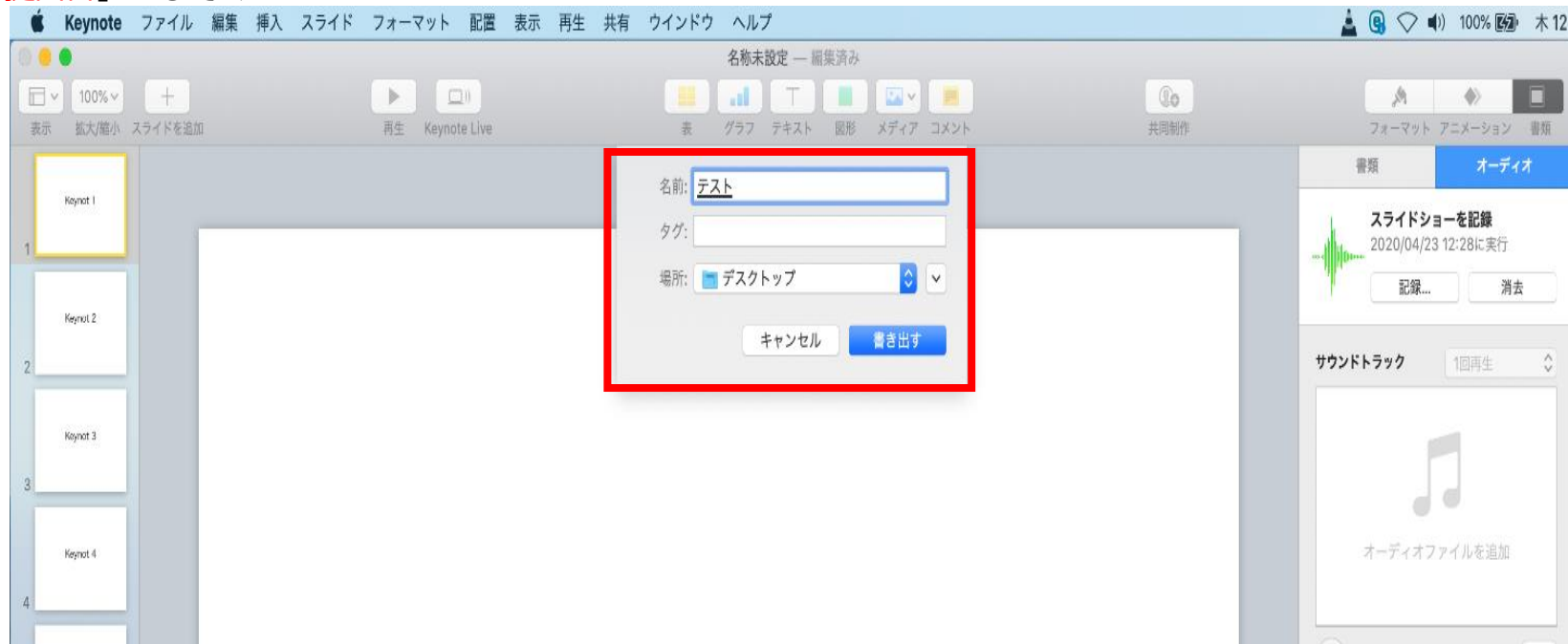
2. 動画作成手順

◆ Keynote の場合

5. 動画への変換作業（続き）

③ファイルを任意の場所に書き出してください。

ファイル名（=【名前】）は「セッション名（例：シンポジウム1）_演者名_提出日」としてください。

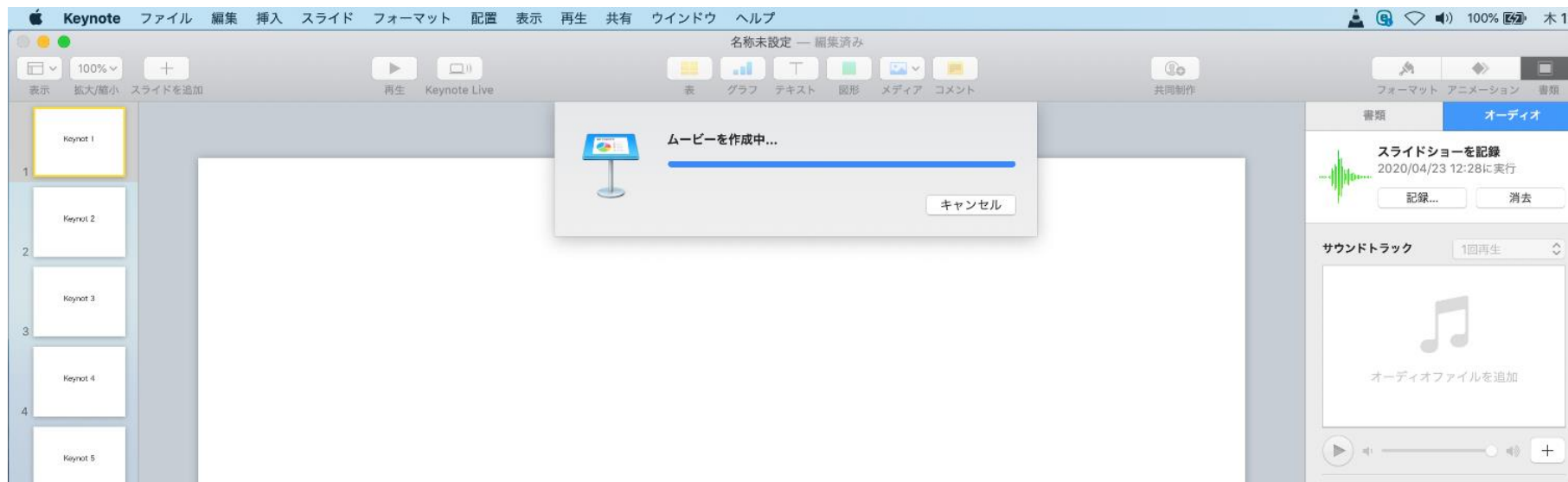


2. 動画作成手順

◆ Keynote の場合

5. 動画への変換作業（続き）

④ムービーの作成が、終了するまでお待ちください。



- ✓ ファイルサイズは1GB以下としてください。
（動画登録アップロード時の上限サイズは1GBです）

完成した動画は、音声やスライドのタイミングが問題ないか、再生ができるか等 必ずご確認ください